

中学校と高校での約四年ありがとうございました。年に三回実施される面談で助言や教  
励を頂くことは自己を見つゝの直すきっかけと  
なりました。

一月、進路の決断が迫られるなか、私は大  
きな決断を下しました。浪人覚悟で、大法學  
部に出願するか、比較的現役合格の可能性の  
高い、大法學部に出願するか、直前まで迷  
いました。私には、大法學部に出願しまし  
た。決め手となつた要因は、大が、大を  
越し、に次ぐ司法試験の成績を残してゐる  
こと、浪人は絶対したくないという思いがあ  
たことでした。

いよいよ四月から大学生。一人暮らしが強  
いられます。これまで家族に頼つていたこ  
と、家事や家の管理など、をこゝからは一人  
でしなければなりません。自力で生活する力  
を養い、社会人に向けて準備してきます。

これからの学生生活、何事も楽しみながら  
送っていただけるよう努めることをもう一つの目

標として頑張ります。

最後になりましたが、砂原児童基金の皆様とお会いできなくなることは寂しいですが、これまでの縁を忘れないうち、また良い報告ができるようにします。

ありがとうございました。

四年間の奨学生生活を振り返って  
まず最初に四年間私を支えてくださった  
がとうございました。奨学金を受給するこ  
ができたからこそ、に通うことがで  
き、自分の第一志望の大学の合格を掴み取れ  
ました。来年度から将来の夢に向かう本格  
的な勉強を始めらるという喜びで感謝の気  
持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます  
いました。  
私は志望大学に共通テストを課す推薦入試  
にて合格しました。法学部が経済学部の選択  
を直前まで悩みました。後者にはより地域  
と関わるコースがある。そちらを選択  
しました。そして大学の四年間では努力する  
ことを忘れない。地方公務員になる目標を必ず  
達成させます。  
この四年間を振り返って、まず最初に転機  
が訪れたのは中学三年生の二学期でした。そ  
れまで大の苦手だった英語が得意へと変わり、

本番の高校入試では一番高い点数を取ることができました。高校に入学して特に、高三生の時は大変でした。二学期にはこれまで以上に成績が伸びず、逆に悪化したりもして、不安に駆られ悩ま日もありました。そんな中でも奨学金を通じた支援の元、塾に通い報われることを信じ、努力を続けることで合格を勝ち取れました。

改めましてこの四年間奨学金を終了してくださりありがとうございました。この感謝の心を忘れることなし、さらなる目標に向か、この努力を続けていきます。